



主な内容

- 2……年金通信 3……人権を考える
- 5……伊賀地域二次救急実施病院 6……隠街道市
- 7……平成31年度保育所などの児童を募集 8……市民文化祭

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

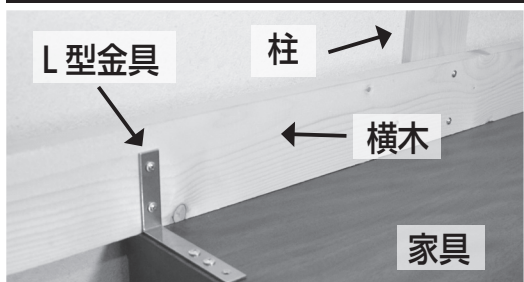
～今すぐできる地震対策～

■家具固定で家族を守る

地震が起こると家具が凶器となって襲ってきます。家具を壁に固定することで、こうした被害は軽減できます。



家具と柱(壁)を直接固定するタイプ



▲柱や間柱と家具の両端が合わないときは、柱と柱に横木をつけて家具を固定。または家具の天板に板を取り付け、板と柱を固定

家具と柱(壁)を直接固定しないタイプ

ポール式

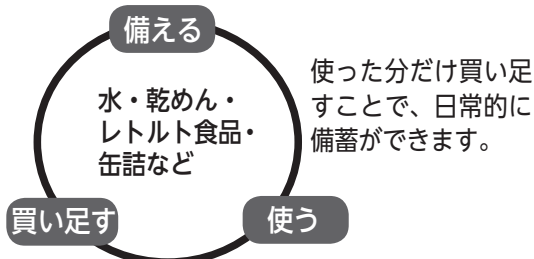


▲突っ張り棒は、家具の両端、壁側に設置する。天井の強度が必要。天井側に厚めの板を渡し、面で受けると効果的です。

耐震基準の古い、昭和56年以前に建築された建物は耐震化することをおすすめします。

■自宅で日常備蓄

大災害時は、電気・ガス・水道などのライフラインが止まります。食料品や生活必需品は、少し多めに購入しておきましょう。



災害時の情報の入手手段

ケーブルテレビ、防災ほっとメール、三重テレビdボタン、市HP、市ツイッター、市フェイスブック、FMなばり、広報車による巡回などで、避難情報や災害情報を発信しています。



防災ほっとメールの登録はこちらから

今すぐできる地震対策 地震への備え



今年の夏は、豪雨・台風・地震と大きな自然災害が続きました。多くの皆さんは災害対策の必要性をあらためて感じたのではないのでしょうか。今号では、地震に対して今できる備えを考えます。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

日頃からの備えと訓練が大切です



危機管理室 防災担当監 鶴長 峯生

平成23年3月までは、自衛官として勤務。平成30年4月から名張市危機管理室の防災担当監として配属。地域防災計画の作成や地域への出前講座に携わる。

今年の夏は、地震や台風と豪雨、そして災害級の猛暑などさまざまな災害が全国各地で発生しました。市では、台風などにより気象警報が発表された際は災害対策本部を立ち上げ、住民の皆さんに早めの避難を呼び掛けるとともに、パトロールや被害のあった場所の復旧作業を行うなど全力で災害対応を行います。

台風に対し、いつやってくるかわからないのが地震です。被害が大きくなると行政ではすぐに対応できない可能性があります。日頃からの心構えと対策が必要です。家具の固定や食料品や必需品を少し多めに備蓄することなどは、今

からでもすぐにできることです。ぜひ、実践してください。

また、各地域の防災訓練や災害に備えた勉強会などへの参加もいざというとき役に立ちます。過去に災害が起こった被災地では、日頃から近所のコミュニケーションが活発だった場所ほど、亡くなった人や被害に遭った人が少なかったということによく言われています。

人はこれまで、大丈夫だったから今度も大丈夫だろうと考えがちです。しかし、最近では自分の経験や想定を超える被害が発生しています。防災マップ(※)などで起こりうる危険について今一度確認をお願いします。

被災者の証言「自宅も職場も普段の備えが必要だと実感」 宮城県仙台市泉区 30代 女性 (東日本大震災/平成23年3月)

出典：内閣府「一日前プロジェクト」
<http://www.bousai.go.jp/km/imp/>

電車などの交通機関が全て機能しない状態で、余震の続く中、職場で一晩を過ごしました。電気・ガス・水道も止まり、電話も混雑状態で、情報を得るためにラジオをつけましたが、電池の予備がなくなっていく切れるのが不安でした。

普段から飲み水はまとめて購入していたものの、今回のように長期的に水道が使用できなくなると困るので、下水に利用できる水をためておくこと、お風呂の水もすぐに捨てないで残しておくこと、停電があったときも、水が出るうちにためることを優先するようになりました。

震災後、ガソリンの入手に困ったこともあり、最近ではガソリンが残り半分になると給油するようになっています。

震災を経験して思うことは、備えていて困ることはないということです。



※防災マップ：地震や水害などの各災害に応じて、その対応に必要な情報をもとめたもの。平成27年に全戸配布しています。また、市のホームページからもご覧いただけます。